計算機科学実験及演習 4 (データベース) 課題 2

1029-33-0786

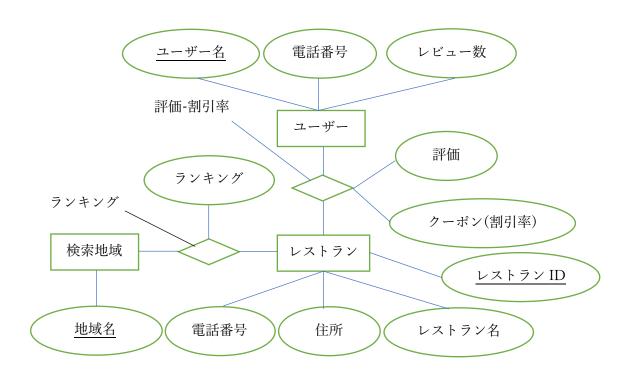
松井 玲

1. 設計した ER 図

ユーザーは名前と電話番号を持ち、ユーザー名は登録時に他ユーザーとの重複を許さない ので、キー属性となる。

ユーザーは各レストランに対し評価(点数)を行い、さらにレストランはユーザーに対し クーポン(割引率)をもつ関連集合が存在する。評価点は 0 から 100 の間の整数とする。 レストランは ID、名前、住所、そして電話番号を持ち、ID によって一意に定まる。

レストランは料理に応じて地域別にまとめられ、検索範囲の地域ごとのランキングを関連 集合にもつ。ランキングは自然数である。



2. 設計した関係スキーマ

関係:(ユーザー(ユーザー名、電話番号、レビュー数),Σ(ユーザー))

 Σ (ユーザー)は次の一貫性制約を含む

σ1:属性(ユーザー名)に含まれる値に重複はない

σ2:属性(電話番号)に含まれる値に重複はない

 σ 3: dom(ユーザー名) = String

 $\sigma 4$: dom(電話番号) = String

 $\sigma 5$: dom(レビュー数) = Integer

関数従属性集合 F={ユーザー名→電話番号、レビュー数

電話番号→ユーザー名}

ユーザー名は各ユーザーに一つで、重複はない。また、電話番号も同様の性質を持つ。

関係:(レストラン(<u>レストラン ID</u>、レストラン名、電話番号、住所),Σ (レストラン))

Σ(レストラン)は次の一貫性制約を含む

 σ 1:属性集合{レストラン ID}が主キーである。

 $\sigma 2 : dom(\nu \lambda \vdash \bar{j} \nu) = Integer (1 \leq \nu \lambda \vdash \bar{j} \nu)$

 σ 3:dom(レストラン名) = String

 $\sigma 4$: dom(電話番号) = String

 σ 5:dom(住所) = String

レストラン ID は各ユーザーに一つで、重複はない。また電話番号、レストラン名と住所の組も同様の性質を持つ。

関係:(評価-割引率(ユーザー名、レストラン ID、評価、割引率),Σ(評価-割引率))

Σ(評価-割引率)は次の一貫性制約を含む

 σ 1:属性集合{ユーザー名、レストラン ID}が主キーである。

 $\sigma 2$: dom(ユーザー名) = String

 σ 3:dom(評価) = Integer (0 \leq 評価 \leq 100)

 $\sigma 4 : dom(割引率) = Integer (0 \leq 割引率 \leq 100)$

 σ 5 : dom(ν ストラン ID) = Integer (1≦ ν ストラン ID)

関数従属性集合 F={ユーザー名、レストラン ID→評価、割引率}

ユーザー名とレストラン名の組が決まれば、そのユーザーがレストランに対して書いた評価も一つに定まる。

関係:(ランキング(レストラン ID、地域名、ランキング),Σ(ランキング))

Σ(ランキング)は次の一貫性制約を含む

 σ 1:属性集合{レストラン ID、地域名}が主キーである。

 σ 2 : dom(ν ストラン ID) = Integer (1≦ ν ストラン ID)

 σ 3:dom(地域名) = String

 $\sigma 4 : dom(\bar{j} + \bar{j}) = Integer (1 \leq \bar{j} + \bar{j})$

これらの関係スキーマにおいて多値従属性は存在しない。